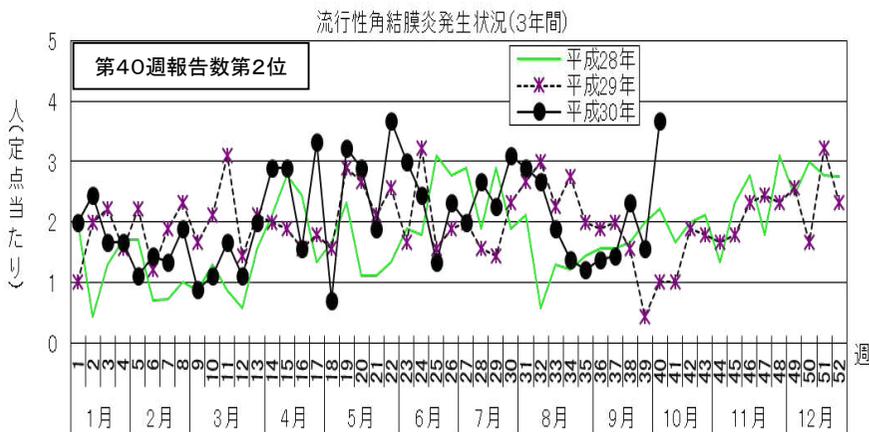
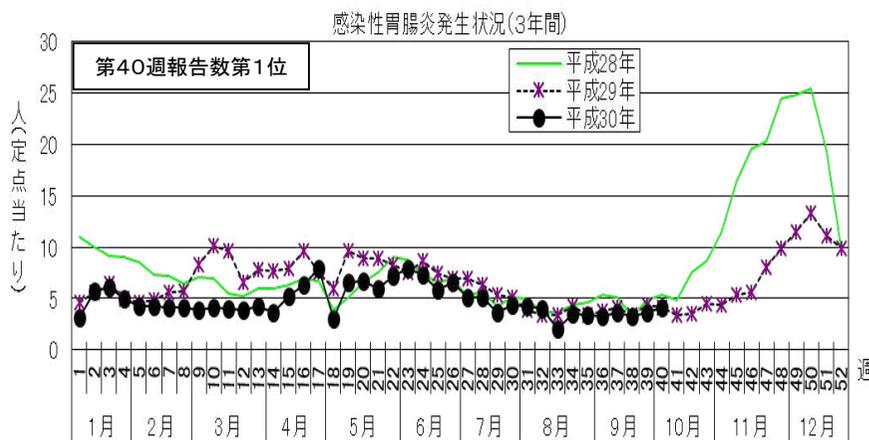


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年10月1日（月）～平成30年10月7日（日）〔平成30年第40週〕の感染症発生状況

第40週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.08人と前週（3.59人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は3.67人と前週（1.56人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.38人と前週（2.08人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。

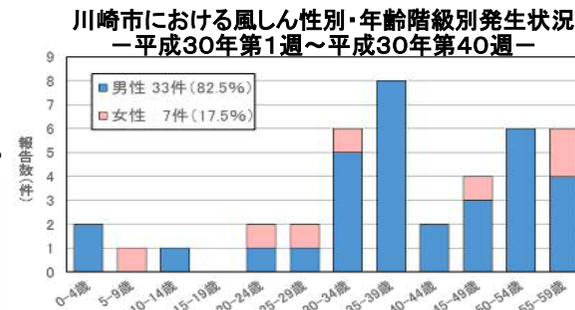
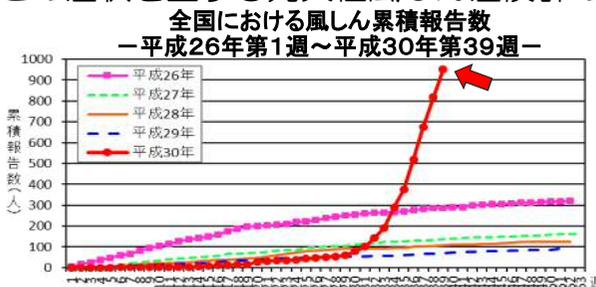


風しんの患者報告数が急増しています！！

現在、特に5都県（東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県及び愛知県）を中心に風しんの患者報告数が急増しています。風しんは妊娠20週頃までの妊婦が感染すると、白内障、先天性心疾患、難聴などの症状を呈する先天性風しん症候群の児が生まれる可能性があります。

川崎市においては、平成30年第1週～第40週（1月1日～10月7日）に計40件の報告があり、性別では男性が82.5%を占め、年齢階級別では30歳代及び50歳代からの報告が多くなっています。

妊婦への感染を防ぐため、接種歴や罹患歴がない又は不明の方は、抗体検査や予防接種を御検討ください。本市では風しん対策事業として、対象者に抗体検査の無料実施と抗体価の低い方へのワクチン接種費用の一部助成を実施しています。



川崎市風しん対策事業について

- 1) 風しん抗体検査（無料）
 【対象者】・妊娠を希望する女性
 ・妊娠を希望する女性のパートナー
 ・妊婦のパートナー
 - 2) 予防接種（自己負担額3,200円）
 【対象者】風しん抗体検査の結果、抗体価が十分でなかった方
- 詳しくは川崎市ホームページで「風しん」と検索してください。

川崎市長も風しんの予防接種を受けました

市長は「大切な人を守る意味でもワクチン接種してほしい」と呼び掛けました。